

昭和二十二年六月十二日 (第三種郵便物認可)
令和四年八月十三日発行 (毎月一回十三日発行)

定価 五〇〇円

第971号

龍

跳

第七十八卷

9

月号

高知
龍跳書道会

竹
村
子
雀
書



清
心

争坐位文稿

唐

顏真卿

若州佐之與縣令乎。若以尚書同於縣令。則僕射見尚書令。得如上佐事刺史乎。益不然矣。今既三廳齊列。足明不同刺
 史。且尚書令與僕射同是二品。只校上下之階。六曹尚書並正三品。又非隔品致敬之類。尚書之事僕射。禮數未
 敢有失。

州佐之與縣令乎。若以尚書同於縣令。則僕射見尚書令。得如上佐事刺史乎。益不然矣。今既三廳齊列。足明不同刺
 史。且尚書令與僕射同是二品。只校上下之階。六曹尚書並正三品。又非隔品致敬之類。尚書之事僕射。禮數未
 敢有失。

若州佐之與縣令乎。若以尚書同於縣令。則僕射見尚書令。得如上佐事刺史乎。益不然矣。今既三廳齊列。足明不同刺
 史。且尚書令與僕射同是二品。只校上下之階。六曹尚書並正三品。又非隔品致敬之類。尚書之事僕射。禮數未
 敢有失。

州佐の県令に与けるが若しと「以為う」か。若し尚書を以て県令と同じくせば、則ち僕射の尚書令を見ること、上佐の刺史に事うるが如くなるを得んや。益ます然らじ。今 既に 三庁 齊しく列するは、刺史と同じからざるを明らかにするに足る。且つ尚書令は僕射と同じく是れ二品なり。只だ上下の階を校ぶれば、六曹尚書は並びに正三品なるも、又た品を隔てて敬を致すの類には非ず。尚書の僕射に事うるは、礼数 未だ敢えて失有らざるに、

争坐位文稿

顔真卿

争坐位文稿は唐の広明二年（七六四年）、顔真卿が時の権力者・郭英かくえい父がひに対し、その朝廷での勝手な振る舞いを糺ただすために書いた文章（書簡）の草稿で、五十六歳の時の作である。

顔真卿の行草書の代表作「祭姪文稿」さいいじごふんごう「祭伯文稿」さいはくごふんごう「争坐位文稿」そうざいごふんごうは「三稿」と知られ、このうち「争坐位文稿」は、全文一二九五字からなる書簡の草稿。

岡本志峰臨

揚帆載月遠相過。佳氣葱々聽誦歌。

揚帆載月遠相過佳
氣葱々聽誦歌

志峰

中平美峰書

萬樹江邊杏 新開一夜風 滿園深淺色 照在綠波中

萬樹江邊杏
新開一夜風
滿園深淺色
照在綠波中

美峰

梅
川
桂
龍
書

江
船
火
獨
明

江船こうせん
火は独り明ひとあきかなり

梅
川
桂
龍
書

曉
看
紅
濕
處

あなごころけないうしな
曉に紅の湿れる処を看れば

福
原
暁
雲
書

秋
菊
清
且
香

秋菊清且つ香し

福原曉雲臨

争坐位文稿

唐 顏真卿

矣且尚書令

矣且尚書令

江西澄翠書

雲裏麻城雙鳳關
雨中蕪湖蠶刀雨

澄翠書

岩河里華臨

祭伯父豪州刺史文
維乾元元年歲

至華味

浜崎洋堂臨

君諱全字景完敦煌效穀人
也其先蓋周之胄武王秉乾

洋堂臨

大八木洋女臨

弘為象聞而空端四八
之相於是激二之

洋女臨

宋西公私万好
仁云以忠少势

岡本空仁

策傾邪覆天不侮
谁为荼毒念尔道

小笠原广人

相露与考
心自透秋

弘田賀峰

弥里上齿宗廟上爵
朝廷上位皆有

野中恵花

安園
明仁
高勝

大石千施

惟尔挺生夙操幼德
宗庸瑚璉階庭

大平圭子

日今者為
風清如此良有尔

大野美賀

燈波说空紅塵不風
月縱橫

市原處艸

卿明治惠沾渥吏樂政民
給足君高升極鼠足

矢野峰臣

盖聞二儀有象顯
覆載以含生四時

北村桂旭

条幅当選作品 福原 暁雲 選評

★天位

岡本空仁君⇨硬さを散見するも動き大きい。

小笠原広人君⇨祭姪を堅実に書して新鮮。

弘田賀峰君⇨流れは良いが線の練れ不足。

野中恵花君⇨文字間が均等で流れ不足。丸い線を期待します。

大石千施君⇨近時良く頑張っています。この調子で。

★地位

大平圭子君⇨祭姪文稿臨で線は強いが文字が並ばない様気を付けて。

大野美賀君⇨墨量含み線が丸い。流れ良し。

市原處艸君⇨筆を握ね過ぎず素直に書して下さい。

★人位

矢野峰臣君⇨力強い隸書です。今後この調子で頑張ってください。

北村桂旭君⇨基本に徹した筆使いがなされています。今後、一幅になる様、研究して下さい。

作品は毎月20日必着
(必ず守って下さい)

▷ 次回審査会 ◁

8月の審査は21日(日曜)午前9時30分に開始
します。審査会場は**高知城ホール**です。

※審査終了後、県展作品勉強会を行います。(参加費500円)

思暮
郷雲

中学一年課題
廣末幽念書

技科
術学

9月20日縮切

空清
志里

9月20日締切

小学五年課題
隅田亘心書

高秋
し空

9月20日縮切

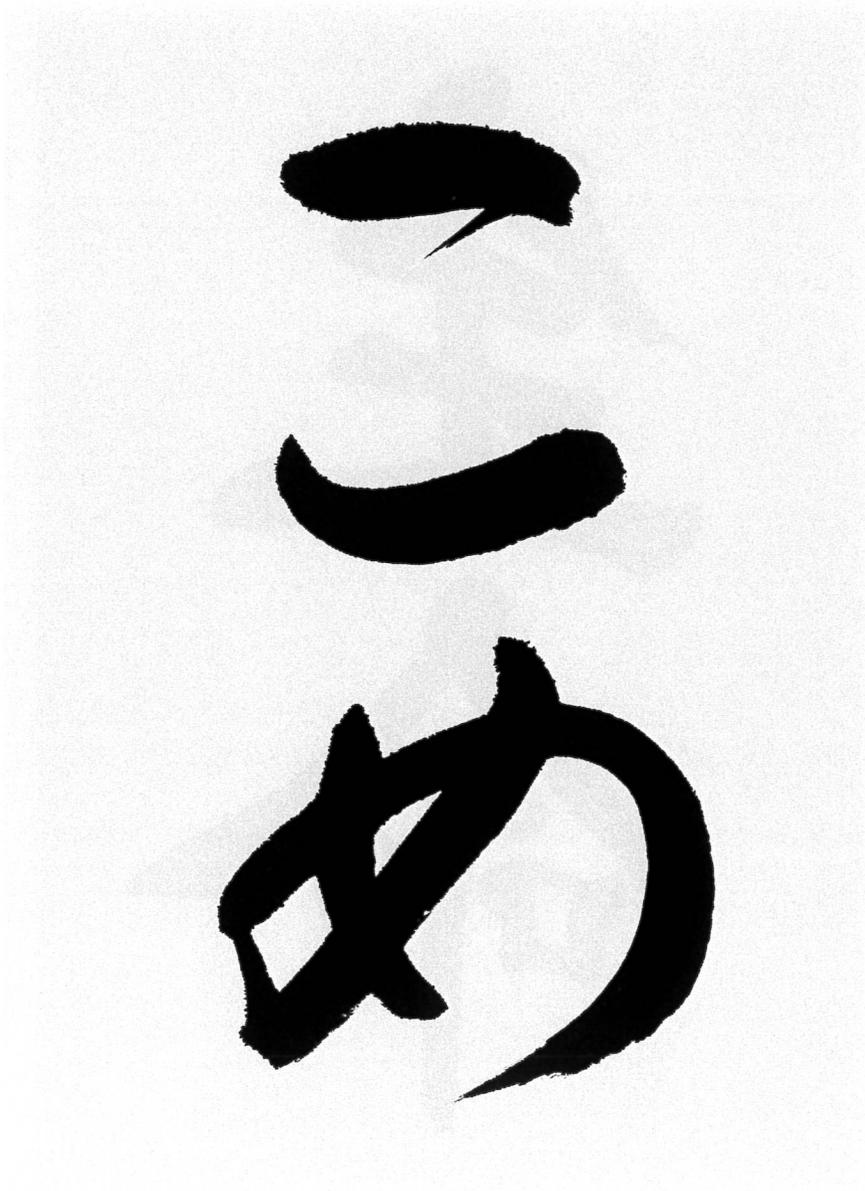
山秋

里の

小学三年課題
大原桂園書

生命

9月20日縮切



9月20日縮切

小学一年・ようち・ほいく課題

市原處艸書

あき

9月20日縮切

学校名	し	り	チ	近	い	
	ゃ	だ	リ	づ	く	休
	べ	し	ン	い	小	み
三年	り	た。		て	屋	時
級段	始		つ	い	に	間
氏名	め	う	づ	く	行	に
	た	さ	け	と	っ	
	の	さ	さ		て	校
	だ。	ぎ	ま	チ	み	庭
		た	に	リ	た。	の
		ち	鳴	ン		し
		が				

がっこう					
	も	ぜ	ま	ど	
	見	ひ	つ	の	お
	て		り	土	ま
二	く	大	に	曜	つ
ねん	だ	き	行	日	り
きゆう	だ	な	っ	で	は
なまえ	さい	や	た	す	は
	い	ぐ	ら	。	こ
		ら		お	ん

がっこう				
	あ	あ	い	
	る	し	こ	ち
一 ねん	け	で		き
きだ ゆうん			み	ゆ
なまえ				
		た	ん	う
		た	な	の
		い	の	
		て		た

がっこう				
ほねん	お	こ	な	き
きだ ゆう なまえ	よ	よ	か	ん
	い	し	よ	ぎ
	で	で	し	し
	る。			よ
				さ
				ん

第六十五回 龍跳展を終えて

梅川 桂龍

会員各位のご協力のもと、龍跳展を無事終了することができました。誠にありがとうございました。幽玄齋様・湖筆堂様には大変お世話になりました。

出展数は昨年より九点少ない七十三点（内・故人七点）で、来場者数の減少傾向と共に今後の課題だと承知しています。

展示会場は、古典を基調とした多字数のほか、詩文書や小字数と、例年より華やいだ雰囲気がありました。加えて創始者・子雀先生をはじめ歴代役員様の七作品は、業界での知名度も高く高評をいただきました。

これからも龍跳書道の伝統を守り、且ついろいろなジャンルに挑戦することで、個性を伸ばし「書」をもっともっと楽しむことも選択肢の一つではないでしょうか。

会員の皆様、今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

第六十五回 龍跳展入賞作品について

（審査：福原・廣末・野島・塚地・梅川）（コメント：福原・梅川）

龍跳賞 岡林邦心 鄭道昭・薦季直表を基盤として落ち着きのある作。

幽玄齋賞 深瀬緑堂 温もりのある作。

湖筆堂賞 弘田賀峰 生氣ある几帳面な作。

優秀賞（順不同）

石川美水 古典らしき流れあり。

大石千施 墨の潤渇あり、流れもよし。

岩河里華 銜いなく淡々と書して好感の作。

前田秀華 まろやかな書体、老練の作。

中平美峰 運筆の暖急・潤渇あり。

田村和子 整然とし、古が偲ばれる。

岡本空仁 字々大小を付けた構成でタッチ柔らか。

小川理香 多彩な線で動きあり。

森本寿山 練度の高い作、一・二行目下部は魅力。

新人賞 大崎紫陽 楷書は基本。鄭義下碑風のかおりがする。

受賞者の皆様、誠におめでとうございます（今回から新人賞を設けました）

第六十五回龍跳展にご芳志を賜りありがとうございます

谷合双辰様 一休園様

幽玄齋様 中城康華様

湖筆堂様 片岡政徳様

久保田號様

野徑雲

俱黒

河子也

野徑雲

俱黒

河子也

野徑雲

俱黒

皇子也

野徑雲

俱黒

皇子也

野徑雲

俱黒

赤尾也

野徑雲

俱黒

紅尾也

野徑雲

俱黒

赤尾也

野徑雲

俱黒

赤尾也

野徑雲

俱黒

内海也

野徑雲

俱黒

美賀也

野徑雲

俱黒

赤尾也

(一・二段目) 武内美仁 選評
 洋女君 強い線で潤濁もあり安定した作。
 恵花君 温かな線質で明るい。
 澄翠君 力みなく伸びやかな作。
 清園君 線質、骨格、バランスすべて佳作。
 令泉君 字々明るく、力みなくよくまとめている。
 洋堂君 大胆な作で好感もてる。
 (二・三段目) 岡林邦心 選評
 紅花君 良くまとまり明るい作。
 美賀君 温和な作でいい。
 司郎君 きびきびとして流れの良し作。
 昭生君 小粒だが良くまとめている。
 星子君 伸び伸びとして明るい作。
 (三・四段目) 大八木洋女 選評
 翠園君 線美しく、明るい。
 広人君 線が強く、堂々としている。
 絵 君 伸びやかで明るい。
 仁実君 良くまとまっている。
 啓子君 落ちつきのある作品。
 喜久美君 丁寧に書かれている。
 (四段目) 大原桂園 選評
 慶子君 潤いがあり美しい。
 清辰君 骨力充実の作。
 心春君 伸びやかで明るい。

石州佐之

与敷令

石州佐之

与敷令

月速相

過佳

麥在民

齋沛

真重批

帖尾

功是

謂

可以

越自

采也

風悚

並謹

領訖

替尊

書状

(一・二段目) 梅川桂龍 選評
賀峰君 一紙の構成絶妙。
惠花君 原帖の流れを良く捉えてい

る。
極山君 自在なタッチで調子安定の
作。

仁子君 線に変化を付け非常に明る
い。
恵子君 やや一本調子だが心地良き
を感じる。

碧泉君 慎重な書態度がしのばれる。
(二・三段目) 西山極山 選評
紅花君 整理にして線が安定してい
る。

玉泉君 落ちつきのある作品。この
調子で。
司郎君 争座位の特徴とらえている。
圭子君 流れ良く力強い。

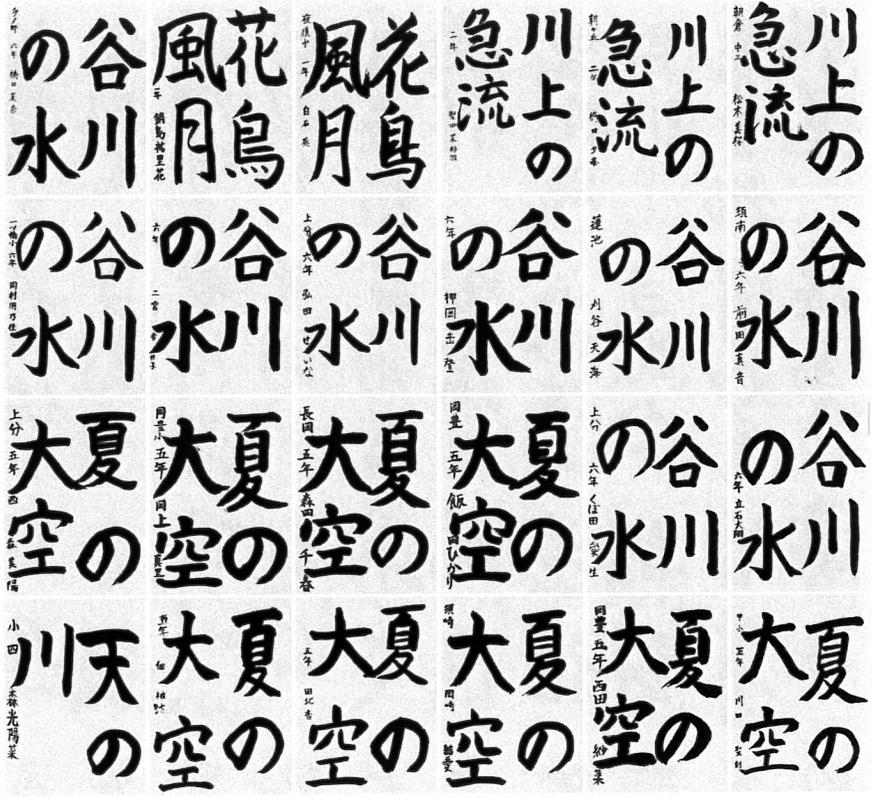
淳 君 メリハリあり、大胆な作品。
(三・四段目) 深瀬緑堂 選評
英子君 手慣れた筆致で好感が持て
る。

沙和君 堂々として動きが良い。
美代君 素朴に臨し、良くまとめて
いる。

裕美君 丁寧な運筆で伸びやか。
仁実君 伸びやかな線で字間明るい。
明美君 線に良いものあり。今後に
期待します。

(四段目) 佐々木港花 選評
清辰君 スキのない字です。運筆も
すばらしい。

慶子君 一つものなが素晴らしい。
線の強さに感心します。
増水君 気持ちよく流れています。



(一段目) 中学部
隅田巨心 選評
美桜君 〓 良い線質で全体明るい。「川」の字少し小さく見える。

夕母君 〓 ていねいに書いて、筆先もよくきいてる。「川」の字少々小さい。
菜那羽君 〓 全体良くまとまっている。更にたくさん書き込んで下さい。

葵 君 〓 一紙堂々と書き流れも良い。
祐里花君 〓 ていねいに書いて良くまとまっている。
(一・二・三段目) 小学六年 奥堂皓月 選評

茉奈君 〓 線強くていねいに書いています。
真音君 〓 ていねいに良くまとめています。
天海君 〓 明るい作品です。

岳登君 〓 のびのびと書いています。
せいな君 〓 まじめに書いています。
有佳子君 〓 力強く形も良いです。

朋乃佳君 〓 明るくていねいです。
大翔君 〓 のびのびと書いています。
愛生君 〓 ていねいに仕上げられています。

(三・四段目) 小学五年 河村容舟 選評
ひかり君 〓 のびのびとしていて良い作品です。
千春君 〓 しっかり書いています。

真里君 〓 明るく良くまとめています。
美陽君 〓 まじめに仕上げられました。
聖剣君 〓 落ちついて書いています。

紗菜君 〓 力強く書いています。
結愛君 〓 明るく仕上げられました。
杏 君 〓 ていねいに書いています。

柚次君 〓 素直に書いています。
(四段目) 小学四年 別役美佐 選評
陽菜君 〓 まとまって書いています。

四年 庄武聖愛 川の 天の 川の 風の せみ うり	二年 大田とうま 川の 天の 川の 風の せみ うり	二年 伊田風佳 川の 天の 川の 風の せみ うり	四年 菅地輝翔 川の 天の 川の 風の せみ うり
二年 小川上穂乃 川の 天の 川の 風の せみ うり	二年 小川上穂乃 川の 天の 川の 風の せみ うり	二年 田田悠風 川の 天の 川の 風の せみ うり	二年 志原彩彰 川の 天の 川の 風の せみ うり
二年 金どうりり 川の 天の 川の 風の せみ うり	二年 須南 二年 田中 祐太 川の 天の 川の 風の せみ うり	二年 西村朝陽 川の 天の 川の 風の せみ うり	二年 王里はる 川の 天の 川の 風の せみ うり
二年 小二 小二 小二 川の 天の 川の 風の せみ うり	二年 小二 小二 小二 川の 天の 川の 風の せみ うり	二年 小二 小二 小二 川の 天の 川の 風の せみ うり	二年 小二 小二 小二 川の 天の 川の 風の せみ うり

(一・二段目) 小学四年

輝翔君 書いていねいに書いています。
 風佳君 練習を続けて下さい。
 嘉奈子君 力強く書いています。
 統誠君 元気に書いています。

あい君 落ち着いて書いています。
 聖愛君 のびのびと書いています。
 彩 君 がんばつて練習をして下さい。

(二・三段目) 小学三年

悠成君 素直に書いています。
 天が君 力強く元気に書いています。
 菜乃君 どのつりとして良いです。
 蒼月君 落ちついて書いています。

詩乃君 元氣よく書いています。
 はる君 書いていねいに書いています。

(三段目) 小学二年

あさひ君 元気に伸びやかに書きました。
 りり君 伸びよく書きました。

あお君 しっかりとりのびやかに書きました。
 しゅんと君 伸びやかに書きました。名前もよく書けました。

石川美水 選評

らん君 からおからかで元気がいいです。
 (四段目) 小学一年・ようちん・ほいく
 たいき君 書いていねいに書きました。
 よしひさ君 元気に書きました。

さゆき君 のびのびと書きました。
 いぶき君 まじめに書きました。
 みらい君 力強く書きました。

はるま君 書いていねいに書きました。名前もよく書きました。

石川美水 選評

須南 前田 真音
須崎 谷 愛莉

私たちが感じている時間は
いつでも、どこでも、だれに
とつても、同じものとはいえ
ません。「心の時間」には、
さまざまなえいきょうを受け
て進み方が変わったりします。

上分 弘田せいな
一ツ橋 岡村朋乃佳

長岡 二宮有佳子
久礼 中平 千友

残雪というののは、一羽のが
んに付けられた名前です。左
右のつばさに、一か所ずつ、
真、白なまじり毛を持って、
いたので、かりゅうどたちから
そうよばれていました。

長岡 森田 千春
甲浦 川田 聖剣

越知 米澤 知那
浦ノ内 寺田 澪

残雪というののは、一羽のが
んに付けられた名前です。左
右のつばさに、一か所ずつ、
真、白なまじり毛を持って、
いたので、かりゅうどたちから
そうよばれていました。

残雪というののは、一羽のが
んに付けられた名前です。左
右のつばさに、一か所ずつ、
真、白なまじり毛を持って、
いたので、かりゅうどたちから
そうよばれていました。

お父さんは、プラット
ホームのはし、ぼの、ご
みすて場のような所に、
わすれられたようにさい
ていたコスモスの花を見
つけたのです。

お父さんは、プラット
ホームのはし、ぼの、ご
みすて場のような所に、
わすれられたようにさい
ていたコスモスの花を見
つけたのです。

新莊 鍋島 綜
浦ノ内 宮地 輝翔

一ツ橋 氏原 一乃
一ツ橋 片岡 あい

お父さんは、プラット
ホームのはし、ぼの、ご
みすて場のような所に、
わすれられたようにさい
ていたコスモスの花を見
つけたのです。

お父さんは、プラット
ホームのはし、ぼの、ご
みすて場のような所に、
わすれられたようにさい
ていたコスモスの花を見
つけたのです。

お父さんは、プラット
ホームのはし、ぼの、ご
みすて場のような所に、
わすれられたようにさい
ていたコスモスの花を見
つけたのです。

鳴りごまは、回っ
て、ときの音を楽しむこま
です。こまのどうは大き
く、中がくうどうになっ
て、どうのよこには、細
長いあなが空いています。

長岡 二宮嘉奈子
多ノこう 松浦 結菜

秦 一ツ橋 田辺 蒼月

鳴りこまは、回っているときの音を、楽しむのです。こまのようは大きく、中がくうどうになつて、どうのよこには、細長いあなが空いています。秦 三、四、五、玉城 遙音

鳴りこまは、回っているときの音を、楽しむのです。こまのようは大きく、中がくうどうになつて、どうのよこには、細長いあなが空いています。うらノ内 三、四、五、田辺 蒼月

鳴りこまは、回っているときの音を、楽しむのです。こまのようは大きく、中がくうどうになつて、どうのよこには、細長いあなが空いています。長岡 三、四、五、北村 さくら子

鳴りこまは、回っているときの音を、楽しむのです。こまのようは大きく、中がくうどうになつて、どうのよこには、細長いあなが空いています。江ノ口 三、四、五、下村 亜季衣

長岡 北村さくら子 江ノ口 下村 亜季衣

すさき 谷わきあいら うらノ内 中井 とうや

にじ色のゼリーのようなくらげ。水中ブルドーザーみたいないせえび。見たいことがない魚たち。すさき 三、四、五、谷わきあいら

にじ色のゼリーのようなくらげ。水中ブルドーザーみたいないせえび。見たいことがない魚たち。うらノ内 三、四、五、中井 とうや

にじ色のゼリーのようなくらげ。水中ブルドーザーみたいないせえび。見たいことがない魚たち。浦ノ内 二、初、宮地しゅんと

にじ色のゼリーのようなくらげ。水中ブルドーザーみたいないせえび。見たいことがない魚たち。うらノ内 三、四、五、中平みおり

浦ノ内 宮地しゅんと うらノ内 中平みおり

日下 井川こはく 浦ノ内 正木 芳尚

にじ色のゼリーのようなくらげ。水中ブルドーザーみたいないせえび。見たいことがない魚たち。日下 三、四、五、井川こはく

あるまじろは、からだをまるめて、みをまもりまします。浦ノ内 一、初、正木 芳尚

あるまじろは、からだをまるめて、みをまもりまします。すさき 三、四、五、田村さゆき

あるまじろは、からだをまるめて、みをまもりまします。すさき 三、四、五、山むらあいら

すさき 田村 さゆき おおのごう 山むらあいら

うらノうち いけだ りん えのくち しもむらあみい

あるまじろは、からだをまるめて、みをまもりまします。うらノうち 三、四、五、いけだ りん

あるまじろは、からだをまるめて、みをまもりまします。えのくち 一、初、しもむらあみい

きれいだね ひがしの そらに はし すさき 三、四、五、こんどう すず

きれいだね ひがしの そらに はし すさき 三、四、五、うめばら ゆま

すさき こんどう すず あそう うめばら ゆま

秦 一ツ橋 田辺 蒼月

鳴りこまは、回っ
てい
るとききの音を
楽しむこま
です。こまの
どうは大き
く、中がくう
どうになっ
て、どうのよ
こには、細
長いあなが
空いています。

鳴りこまは、回っ
てい
るとききの音を
楽しむこま
です。こまの
どうは大き
く、中がくう
どうになっ
て、どうのよ
こには、細
長いあなが
空いています。

鳴りこまは、回っ
てい
るとききの音を
楽しむこま
です。こまの
どうは大き
く、中がくう
どうになっ
て、どうのよ
こには、細
長いあなが
空いています。

鳴りこまは、回っ
てい
るとききの音を
楽しむこま
です。こまの
どうは大き
く、中がくう
どうになっ
て、どうのよ
こには、細
長いあなが
空いています。

長岡 北村さくら子
江ノ口 下村 亜季衣

すさき 谷わきあいら
うらノ内 中井 とうや

にじ色の ゼリー
のような くらげ。
水中ブルドーザー
み
たいないせえび。見
たことがない魚たち。

浦ノ内 宮地しゅんと
うらノ内 中平みおり

日下 井川こはく
浦ノ内 正木 芳尚

あるまじろは、
からだを まるめ
て、みを まもり
ます。

すさき 田村 さゆき
おおのごう 山むらあいら

うらノうち いけだ り人
えのくち しもむらあみい

あるまじろは、
からだを まるめ
て、みを まもり
ます。

すさき こんどう すず
あそう うめばら ゆま

出品票の名前は楷書ではっきり書いて下さい。

★出品票は黒枠をきちんと切って下さい。
★臨書は出典名を記入のこと。

久礼 瀧田美恵子 須南 森光朋子 窪川 高橋由美 大野見 池田祥子 高知 岡田由紀 南国 田内史恵 須崎 毛利恋子	★三級 仁淀川 ○山本心春 藤沢 ○駒崎真実 仁淀川 ○中内泰子	★四級 南国 ○林 真裕	★新規 七級編入 多ノ郷 市川美香	随意 審査 梅川 桂龍	★師範 弘田賀峰 野中恵花 西山極山 深瀬緑堂 大八木洋女 江西澄翠
大庭桂紅 大原桂園 河村容舟 奥堂皓月 岩河里華 岡林邦心 中平美峰 市原處艸	★準師範 西内仁子 門田恵子 窪田碧泉 北村桂旭 池 芳春 吉田深美 浜崎洋堂 萩野羽花 平井桂草 氏原美景 矢野峰臣 山本恵歩 西村芳香 岡田雄山 山中紅風 桑原智子 山西春草 田村和子 高橋桜芳 横山桂華 田中恵風 天野喜泉 山崎旭峰 別役美佐 西森令泉 芝田春琴	高橋朱鳥 西山 極山 岩谷紅花 下元玉泉 岩崎竹山 伊吹悠道 大野美賀 山川百合 丸田宏子 濱田貴志 大崎紫陽 藤原朱鳳 利谷喜子 松浦明子 小野山美喜 井口花道 横山友香	★五段 岩井司郎 龜平圭子 大平圭子 岩村 祥 岡村妙慧 坂倉春葉 鎌倉孝北 戸田多嘉 笠原多嘉 田村昭生 橋本祝子 浪上理奈 岡林 翠	★六段 審査 西山 極山	高橋朱鳥 西山 極山 岩谷紅花 下元玉泉 岩崎竹山 伊吹悠道 大野美賀 山川百合 丸田宏子 濱田貴志 大崎紫陽 藤原朱鳳 利谷喜子 松浦明子 小野山美喜 井口花道 横山友香
植田愛菜 藤原勝子 吉村久美子 品原里皇 和田恵美 掛水勝恵 品原律子	★四段 大井 淳 濱田順子 鈴木輝代 浜 恵子 西森啓助	審査 深瀬 緑堂 澤谷清辰 楠瀬慶子 井上増水 山崎幸三 毛利恋子 森光朋子 田内史恵	★二級 杉本美代 濱田幸子 松本 絵 林 隆光 小笠原広人	★初段 藤中裕美 横田仁美 西尾明美 山本 房 井上知勢子 村田啓子 前田伸枝 渡部由紀 松島利恵	★三級 中内泰子 駒崎真実 林 真裕
植田愛菜 藤原勝子 吉村久美子 品原里皇 和田恵美 掛水勝恵 品原律子	★四段 大井 淳 濱田順子 鈴木輝代 浜 恵子 西森啓助	審査 深瀬 緑堂 澤谷清辰 楠瀬慶子 井上増水 山崎幸三 毛利恋子 森光朋子 田内史恵	★二級 杉本美代 濱田幸子 松本 絵 林 隆光 小笠原広人	★初段 藤中裕美 横田仁美 西尾明美 山本 房 井上知勢子 村田啓子 前田伸枝 渡部由紀 松島利恵	★三級 中内泰子 駒崎真実 林 真裕
植田愛菜 藤原勝子 吉村久美子 品原里皇 和田恵美 掛水勝恵 品原律子	★四段 大井 淳 濱田順子 鈴木輝代 浜 恵子 西森啓助	審査 深瀬 緑堂 澤谷清辰 楠瀬慶子 井上増水 山崎幸三 毛利恋子 森光朋子 田内史恵	★二級 杉本美代 濱田幸子 松本 絵 林 隆光 小笠原広人	★初段 藤中裕美 横田仁美 西尾明美 山本 房 井上知勢子 村田啓子 前田伸枝 渡部由紀 松島利恵	★三級 中内泰子 駒崎真実 林 真裕
朝ヶ丘 橋田夕苺 香長 川口虎之介 上分 小松慎吾	★特待生 朝ヶ丘 橋田夕苺 香長 川口虎之介 上分 小松慎吾	審査 隅田 亘心 三年 ★九段 朝倉 松本美桜	★特待生 朝ヶ丘 橋田夕苺 香長 川口虎之介 上分 小松慎吾	★九段 朝ヶ丘 前田理功 ★二段 松井柑奈	朝ヶ丘 橋田夕苺 香長 川口虎之介 上分 小松慎吾
須崎 鍋島祐里花 上分 朝比奈美空 上分 青木美那海	★九段 須崎 鍋島祐里花 上分 朝比奈美空 上分 青木美那海	審査 隅田 亘心 一年 ★特待生	★特待生 須崎 鍋島祐里花 上分 朝比奈美空 上分 青木美那海	夜須 白石 葵 介良 小松論美 朝ヶ丘 黄之瀬風	南 竹内雄星 ★七段

第866回毛筆成績
○印は昇級

(出品票) のり代 4年 9月 氏名 臨書は出典名

小学部	
<p>毛筆六年</p> <p>審査 奥堂 皓月</p> <p>★特待生</p> <p>多ノ郷 橋田茉莉奈 須南 前田真音 浦ノ内 正木希実</p> <p>★八段</p> <p>吾桑 松浦由奈</p> <p>★七段</p> <p>蓮池 刈谷天海 長岡 押岡岳登 上分 弘田せいな 上分 植村晴陽</p> <p>★六段</p> <p>長岡 二宮有佳子 江ノ口岡村彬茉莉 須崎 谷 愛莉</p> <p>★五段</p> <p>一ツ橋岡村朋乃佳</p>	<p>★四段</p> <p>附属 立石大翔</p> <p>★三段</p> <p>池川 杉本咲優</p> <p>★二段</p> <p>上分 くぼ田愛生 池川 大田翔夢</p> <p>★初段</p> <p>吾桑 中越悠守 多ノ郷 今橋 蕾</p> <p>★一級</p> <p>一ツ橋 武内心桜</p> <p>★三級</p> <p>須崎 ○濱渦愛夏</p> <p>毛筆五年</p> <p>審査 河村 容舟</p> <p>★八段</p> <p>岡豊 飯田ひかり 南 奥崎誠真</p>
<p>★七段</p> <p>長岡 森田千春</p> <p>★六段</p> <p>岡豊 岡上真里 長岡 猪野雛子 長岡 安井風葵</p> <p>★五段</p> <p>上分 西森美陽 須崎 谷口彩心</p> <p>★四段</p> <p>甲浦 川田聖剣</p> <p>★三段</p> <p>岡豊 西田紗菜 池川 藤原乙羽 長岡 公文琉心 戸波 塩見維那</p> <p>★二段</p> <p>須崎 岡崎結愛 池川 鶴井創太</p> <p>★初段</p> <p>一ツ橋 田北 杏 馬路 小松わと</p>	<p>★二級</p> <p>別府 ○佃 柚汰 別府 藤原杏実</p> <p>毛筆四年</p> <p>審査 別役 美佐</p> <p>★七段</p> <p>多ノ郷 森光陽菜</p> <p>★五段</p> <p>浦ノ内 宮地輝翔 新莊 鍋島 綜</p> <p>★四段</p> <p>長岡 押岡風佳 上分 朝比奈来夢</p> <p>★三段</p> <p>長岡 二宮嘉奈子 長岡 高芝仁貴 一ツ橋 氏原一乃 須南 宮本里依羽 多ノ郷 森岡快晴 上分 弘田美結</p> <p>★二段</p> <p>池川 大田統誠 須崎 渡部一翔 須崎 毛利秀門</p>
<p>★初段</p> <p>一ツ橋 片岡あい 一ツ橋 戸髭愛加 初月 川渕結衣 一ツ橋 宮田茉尋</p> <p>★三級</p> <p>馬路 上利綺沙</p> <p>★七級</p> <p>別府 ○庄武聖愛 一ツ橋 ○志磨村彩 ふぞく三本はると</p> <p>毛筆三年</p> <p>審査 佐竹 江月</p> <p>★四段</p> <p>多ノ郷 大城リサ</p> <p>★三段</p> <p>一ツ橋 安田悠成 多ノ郷 橋田天乃 須崎 松田菜乃 須南 谷口桜心 上分 前田來音 上分 小松のぞみ 上分 梅原百叶</p>	<p>★二段</p> <p>池川 つるい香月 長岡 宮脇改太</p> <p>★初段</p> <p>一ツ橋 田辺蒼月 秦 玉城遥音 岡豊 西宮咲希 長岡北村さくら子 池川 藤崎杜真 岡豊 島村倅空</p> <p>★一級</p> <p>附属 江頭咲良 江ノ口 宮崎愛莉 須崎 岡崎香莉 上分 田なべり音 長岡 竹内陽南子 上分 柳本きい</p> <p>★二級</p> <p>秦 ○川上詩乃 一ツ橋 ○玉置はる 須崎 田村拓海</p> <p>★三級</p> <p>吾桑 梅原蒼菜</p> <p>★五級</p> <p>潮見 ○須賀勇介</p>
<p>★八級</p> <p>岡豊 ○田所萌羽</p> <p>★九級</p> <p>秦 ○阿漕結花</p> <p>★新規</p> <p>多ノ郷 九級編入 山村速人</p> <p>もうひつ二年</p> <p>審査 石川 美水</p> <p>★三段</p> <p>長岡 森田実咲 小高坂 川西こうすけ</p> <p>★二段</p> <p>夜須 西村あさひ 佐古 田村けんご</p> <p>★一級</p> <p>須崎 金堂りり 馬路 小松太緒</p> <p>★二級</p> <p>須崎 ○津野せいか</p>	

<p>★五級 甲浦 川田聖剣 越知 米澤知那 越知 藤野敬心 一ツ橋 田北杏 越知 片岡絢女 南 奥崎誠真</p> <p>★四級 一ツ橋 德平温郎 佐古 田村依千華</p> <p>★三級 越知 岡田侑晟 長岡 公文琉心</p> <p>★二段 五所 濱田 梓 須崎 岡崎結愛 一ツ橋 奥田健琉</p> <p>★初級 岡豊 西田紗菜</p> <p>★一級 上ノ加江 後藤まなか 浦ノ内 田中日向 上ノ加江 政岡希子</p>	<p>★四級 浦ノ内 〇寺田 滯 別府 〇藤原 杏実 池川 〇藤原 乙羽</p> <p>硬筆四年 審査 森本 寿山</p> <p>★七級 新莊 鍋島 綜 多ノ郷 森光陽菜 藤沢 渡部 一翔</p> <p>★六級 浦ノ内 宮地輝翔 初月 川渕結衣</p> <p>★五級 一ツ橋 氏原一乃 浦ノ内 藤田結愛 浦ノ内 矢野蒼真 長岡 押岡風佳</p> <p>★四級 一ツ橋 戸梶愛加 久礼 濱田かなで 一ツ橋 宮田茉尋 上分 朝比奈来夢 多ノ郷 森岡快晴 馬路 牛窓環菜</p>	<p>★三段 一ツ橋 片岡あい 長岡 高芝仁貴 須南 宮本里依羽 上分 弘田美結 須崎 毛利泰門 浦ノ内 藤田 楓 須崎 駒崎愛恵 須崎 竹村奏佑 西山あい</p> <p>★二段 長岡 二宮嘉奈子 課題違い 越知 和田莉歩</p> <p>★初級 越知 大原るい 浦ノ内 森田大翔 一ツ橋 志磨村彩 一ツ橋 山下斗愛 一ツ橋 梅原勇人 馬路 浅野由梨</p> <p>★一級 一ツ橋 辻信之助 土佐山 澤田 理 上ノ加江 政岡明里</p> <p>★二級 一ツ橋 〇吉田心花 浦ノ内 〇岡林夢大</p>	<p>★三級 馬路 〇上利綺沙</p> <p>★四級 須崎 〇川西桜空</p> <p>★六級 須崎 〇川西蒼空</p> <p>★七級 大谷北 〇山崎流依 城東 〇持田和花</p> <p>★八級 別府 〇庄武聖愛 城東 〇布施実来 ふぞく 〇三本はると</p> <p>硬筆三年 審査 森本 寿山</p> <p>★四級 多ノ郷 松浦結菜 秦 玉城遙音 一ツ橋 安田悠成 上分 梅原百叶 多ノ郷 大城リサ</p>	<p>★三段 一ツ橋 田辺蒼月 附属 江頭咲良 須崎 山口菜乃 須崎 谷口桜心 上分 小松のぞみ 江ノ口 宮崎香羽 須南 前田来音 多ノ郷 橋田天が</p> <p>★二段 長岡北村さくら子 長岡 宮脇 改太 久礼 森岡 虹 久礼 窪田まゆ 一ツ橋 玉置はる 浦ノ内 津野凌功 長岡 竹内陽南子 浦ノ内 美島希以花 久礼 松本かな 浦ノ内 松山 翔 浦ノ内 森田理央</p> <p>★初級 上分 田なべり音 秦 阿漕結花 須崎 川上詩乃 岡豊 西宮咲希 越知 片岡あんり 浦ノ内 武内生和 久礼 矢野華絵 浦ノ内 山岡隼士 久礼 木下心結 岡豊 島村倅空</p>	<p>須崎 岡崎愛莉 浦ノ内 森田 葵</p> <p>★一級 江ノ口 下村亜李衣 江ノ口 宮崎莉緒 浦ノ内 安並乃愛 上ノ加江 政岡桃加 上分 柳本さき 吾桑 梅原蒼葉 須崎 田村拓海</p> <p>★二級 潮見 〇須賀勇介</p> <p>★三級 浦ノ内 〇山本彩喜</p> <p>★四級 多ノ郷 〇山村速人 上ノ加江 〇岩田愛菜</p> <p>★五級 藤沢 〇駒崎信慈 浦ノ内 〇中田湖音</p> <p>★八級 浦ノ内 〇久保田健介</p>	<p>★十級 岡豊 〇田所萌羽 池川 〇藤崎杜真</p> <p>こうひつ二年 審査 野中 恵花</p> <p>★三段 長岡 森田実咲 小高坂 川西こうすけ</p> <p>★二段 須崎 谷脇あいら 夜須 西村朝陽</p> <p>★初級 浦ノ内 中井とうや 浦ノ内 宮地舜翔 浦ノ内 小池ゆうせい 戸波 塩見あやな 佐古 田村けんご 浦ノ内 藤田あつひろ 浦ノ内 山本こうせい</p> <p>★一級 一ツ橋 森田杏香</p>
---	--	--	---	--	---	--

(出品票) 低学年の生徒名も5字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

のり代	4年9毛	月筆	校名	学年	氏名	段級	のり代	4年9硬	月筆	校名	氏名	段級
須南	中山柚希	★五級	久礼	○黒原のあ	こうひつ一年	★八級	浦ノ内	森田わか	こうひつ	須南	宮本はるま	★十級
須崎	田中碧空	久礼	○黒原のあ	久礼	浦ノ内	○森田わか	浦ノ内	藤田いろは	ようちひつ	須崎	○金堂すず	★六級
一ツ橋	高橋そら	★六級	審査	市原 處紳	★初段	浦ノ内	藤田いろは	長岡	○竹内かなこ	長岡	○押岡いぶき	浦ノ内
越知	米澤はると	馬路	○木下歌乃	浦ノ内	正木芳尚	須崎	領木あみ	須崎	西村たいき	須崎	毛利こはな	須崎
吾桑	松坂みおね	★七級	須崎	毛利こはな	須崎	清家逢生	秦	★九級	江ノ口	○下村亜弥衣	長岡	○猪野こうき
越知	西森ゆうな	久礼	○黒原小夏	久礼	竹本七音	★八級	一ツ橋	東恭太郎	吾桑	奥田こはく	一ツ橋	○栗坂明日香
夜須	○北琳太郎	★九級	一ツ橋	東恭太郎	吾桑	奥田こはく	須崎	田村さゆき	須崎	田村さゆき	秦	中川楓子
久礼	○清藤 蘭	★九級	一ツ橋	○東恭太郎	吾桑	奥田こはく	土佐山	澤田 鈴	★三級	多ノ郷	○山村あいり	浦ノ内
○こも田	コモモ	★十級	一ツ橋	○金尾咲良	馬路	○栗坂明日香	多ノ郷	○山村あいり	★三級	多ノ郷	○山村あいり	浦ノ内
久礼	○今橋なのは	★九級	一ツ橋	○金尾咲良	馬路	○栗坂明日香	多ノ郷	○山村あいり	★三級	多ノ郷	○山村あいり	浦ノ内
吾桑	○宮崎ほのか	★九級	一ツ橋	○金尾咲良	馬路	○栗坂明日香	多ノ郷	○山村あいり	★三級	多ノ郷	○山村あいり	浦ノ内
久礼	高橋かな	★九級	一ツ橋	○金尾咲良	馬路	○栗坂明日香	多ノ郷	○山村あいり	★三級	多ノ郷	○山村あいり	浦ノ内
久礼	山川そよ	★十級	一ツ橋	○金尾咲良	馬路	○栗坂明日香	多ノ郷	○山村あいり	★三級	多ノ郷	○山村あいり	浦ノ内
浦ノ内	○中平みおり	★十級	一ツ橋	○金尾咲良	馬路	○栗坂明日香	多ノ郷	○山村あいり	★三級	多ノ郷	○山村あいり	浦ノ内
一ツ橋	○千田颯太	★六級	浦ノ内	○池田りひと	★新規	十級編入	久礼	○倉下かなる	一ツ橋	○梅原虹心	久礼	○倉下かなる
須崎	○津野せいか	★七級	浦ノ内	○池田りひと	★新規	十級編入	池川	○藤崎菜央	池川	○藤崎菜央	多ノ郷	○森光りいな
上ノ加江	○出来あや音	★七級	浦ノ内	○池田りひと	★新規	十級編入	長岡	宮脇はるた	★新規	おひさま	森本れんたろう	おひさま
上分	○橋田りく	★七級	浦ノ内	○池田りひと	★新規	十級編入	長岡	宮脇はるた	★新規	おひさま	森本れんたろう	おひさま
久礼	○笹岡れいと	★七級	浦ノ内	○池田りひと	★新規	十級編入	長岡	宮脇はるた	★新規	おひさま	森本れんたろう	おひさま
久礼	松田ゆあ	★七級	浦ノ内	○池田りひと	★新規	十級編入	長岡	宮脇はるた	★新規	おひさま	森本れんたろう	おひさま
★四級		★七級	浦ノ内	○池田りひと	★新規	十級編入	長岡	宮脇はるた	★新規	おひさま	森本れんたろう	おひさま
久礼	○下村いちか	★七級	浦ノ内	○池田りひと	★新規	十級編入	長岡	宮脇はるた	★新規	おひさま	森本れんたろう	おひさま
久礼	○松山たくと	★七級	浦ノ内	○池田りひと	★新規	十級編入	長岡	宮脇はるた	★新規	おひさま	森本れんたろう	おひさま

中国文房四宝
国産書道用品
久保田号銘筆

有限会社 尚筆堂

〒780-0818 高知市宝永町3-3
TEL (088) 882-1454
FAX (088) 884-7413

龍跳書道会

本会は竹村子雀創立の主旨に則り古典を基調とし、雄大且つ豊かな気性を養い、心から発する飛動の筆を練り、古典に徹して、己の心芸に到達すべく人格培養の道場であります。

「龍跳」の由来

王羲之「草書行穰帖」の文の中の龍跳天門虎臥鳳閣（龍は天門に跳び、虎は鳳閣に臥す）より引用命名した。

会員の規定

一、会員となるには龍跳誌代に送料を添えてお送り下さい。

行事

- 1、本会は年に一回龍跳書展を開催します。
- 2、本会は毎月一回機関誌「龍跳」を発行し、会員の競書を左記課程により募ります。

【認定証について】

昇段、昇級された方で認定証が入手の方は、左記によりお申し込み下さい。

記

★師 範 三千元

★準師範以下一般 二千元

★学 生 一千元

（注意 申込時左記事項を必ずお知らせ下さい。）

① 昇段の年月日

② 学生は学校名と学年

③ 一般は市町村名

（申込先）ご希望の先生に要項を明記した文書で

直接お申し込み下さい。

〒七八一―七四二二

安芸郡東洋町河内三〇四

龍跳書道会 福原暁雲

〒七八一―三〇一

高岡郡越知町越知甲二二一七―一六

龍跳書道会 梅川桂龍

お知らせ

※県展作品下見会

8月21日(日) 審査会終了後(12時半)
下見会を行います。

(参加料500円)



昇段試験に関する件

- 受験料は期日(九月一日)迄に口座に振込んで下さい。
- 受験作品及び受験料の審査会場での受付けは、審査日(九月四日)当日の八時～八時三十分までです。
- 時間、厳守して下さい。
- 昇段試験内訳表は正しく書いて作品に添付して下さい。

秋季昇段試験作品募集

▽第一部 (準師範) 一般部級位、級位の者

○課題

雲裏帝城雙鳳闕 雨中春樹萬人家

雲裏の帝城 双鳳の闕 / 雨中の春樹 万人の家

○右の詩句を画仙紙半折に楷、行草体の二枚と二ページの争坐位文
稿より、十二文字以上を臨書して計三点出品のこと。

○作品は無落款とし、作品毎に裏面左下にエンピツで現段級位と氏
名を明記すること。

○当選者は準師範以下相当段位に認定編入する。

▽第二部 一般部級位の者

○課題

松高白鶴眠

松は高くして 白鶴眠る

○右を楷、行、草の三体を半紙三枚出品のこと。

○作品を楷、行、草の順に縦に貼つぎすること。

○作品は無落款とし、作品裏面左下にエンピツで現級位と氏名を明
記すること。

○当選者は初段以下相当段級位に認定編入する。

☆出品料 第一部・六千円 / 第二部・四千円

(作品と同時に納入してください)

第一、二部参考手本を希望される人は本会役員に直接申込んで下さ
い。潤筆料は条幅三点につき一万五千元、半紙三点につき五千元。

▽学生・学童の部 (毛筆部)

○課題の文字は龍跳七月号(七月二十日締切)の課題字句とします。

○規格は半紙。一人一点とします。

○書体は自由です。

○作品の裏にエンピツで学年、現段級位、氏名を書くこと。

○作品の表には絶対に書いてはいけません。

○出品料 五百円

▽硬筆作品

○課題の文字は龍跳七月号(七月二十日締切)の課題字句とします。

○それぞれの学年に応じた硬筆用紙に規定の字句、学校名、学年、
現段級位、氏名を正しく書いて出品してください。

○出品料 五百円

△作品・出品料の締切

令和四年九月一日(木)

※出品料は本会口座に振込んで下さい。

※出品作及び受験料を審査当日、会場に持ち

込む場合は、八時〜八時三十分の受付です。

令和四年九月四日(日)

午前九時から審査準備、十時より審査開始

高知城ホール

△審査場所

〒783-0081 南国市片山四九〇

西山極山 宛

電話 (088) 86518857

⑨

封筒表に「昇試作品在中」と明記する事

春・秋・季 昇段(級)試験申し込み内訳表

申込者氏名 _____

	出品料	点数	金額	払い込み方法 (いずれかを○で囲む)
師範の部 (春季のみ)	8000円	点	円	現金・為替・振込み
第一部	6000円	点	円	現金・為替・振込み
第二部	4000円	点	円	現金・為替・振込み
学生・学童の部	出品料	点数	金額	払い込み方法 (いずれかを○で囲む)
毛筆	500円	点	円	現金・為替・振込み
硬筆	500円	点	円	現金・為替・振込み
合計金額			円	

※ 昇試作品に上記内訳表を必ず添付して下さい。 ※グループで送られる方は合計点数で記入して下さい。
 ※ 師範の部は4体、第1部・第2部は3体を「1点」として下さい。

連絡・問い合わせ・送り先等

・新規入会申込と会費の送金先

・「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎一三三一

隅田亘心

龍跳書道会 兼崎口園部

01690-3-31925

電話(〇八八九) 三五〇九七一 番

・月例作品の送り先

〒783-0081 南国市片山四九〇

西山極山

電話(〇八八) 八六五―八八五七 番

・「龍跳誌」の内容について

〒781-7412 安芸郡東洋町河内三〇四

福原 暁雲

電話(〇八八七) 二九―二六五〇 番

・編集についての連絡先

〒785-0010 須崎市鍛冶町六一八

江西 澄翠

電話(〇八八九) 四二―三〇六七 番

・送本についての連絡先

(冊数の相違等については当方へご連絡下さい。)
〒785-0055 須崎市大谷二〇四

野中 恵花

電話(〇八八九) 四七―〇七二二 番

あとがき

最近は何の中がくるってきました。

酷暑かと思えば、大豪雪。雨が降れば大洪水。

コロナウイルスは変異しながら世界中に大蔓延。

ロシアのウクライナ侵攻。世界の経済はメチャクチャで

す。ウクライナでは、一般市民、そして小さな子供や女性

が戦火にまみれています。テレビから、そのような報道が

流れてくると、胸が苦しくなります。ロシアや北朝鮮は核

の使用を仄めかし脅しています。

日本でも軍備を増強するという。いったいどうすれば良

いのでしょうか。子供や孫の将来はどうなるのでしょうか。

さて、龍跳書道会の最大イベントの龍跳展も終了しまし

た。今年の龍跳展いかがだったでしょうか。多くの力作が

あり、また、懐かしい故人の作品の前では多くの方が見入

っておられました。参加者は66名、昨年より13点少ない出

品でした。毎年徐々に減少しています。以前は、出品対象

者は4段以上の方でしたが、令和2年から誰でも出品でき

ることとなりました。

若い方も徐々に参加されています。そして、今年から若

い方を対象に新人賞が設けられました。今年参加できな

った方も来年はぜひご参加下さい。できれば100点以上の出

品を期待したいですね。

龍跳展：日頃の練習の発表会として、ぜひみんなで参加

しましょう。

令和4年7月

月例競書課題

保 育	一年	二年	三年	四年	五年	小学六年	一年	二年	中学三年	半紙随意	半紙規定	一般条幅	部 別
	あ き と ら	こ め な わ	生 命 文 字	秋 の 山 里 美 し い 鳥	秋 空 高 し 親 切 な 心	空 清 き 里 希 望 の 道	科 学 技 術 無 我 夢 中	暮 雲 思 郷 鳥 語 花 香	新 進 気 鋭	任 意 任 意	曉 看 紅 濕 處 花 重 錦 官 城	任 意 任 意	縮 切 日 九 月 二 十 日 縮 切 十 月 二 十 日 縮 切

会費の送金について

会費：半年分 3,000円 / 1年分 6,000円

1ヶ月の龍跳誌郵送料

(幸便搬送の方は送料不要)

11冊以上は次の計算による。(1ヶ月分)

Ⓐ	1冊～3冊	80円
Ⓑ	4冊～8冊	150円
Ⓒ	9冊・10冊	210円

〈例〉 12冊 ③+Ⓐ=290円×月数
 17冊 ③+Ⓑ=360円× "
 30冊 ③×3=630円× "

◎会費と龍跳誌送料は原則として半年分または1年分前納のこと。

◎送金は次の何れかへ
 ・〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心
 ・振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会
 (お問い合わせ) ☎0889-35-0971

○月号(○冊)より○月号まで○ヶ月分
 誌代 ○円 / 送料 ○円

と記入のこと。

印刷所

(有)笹岡印刷所

須崎市東古市町二一六
 電話(〇八九)四二一〇三四

発行所

龍跳書道会

電話(〇八七)二九一二六五〇

発行人

福原 曉 雲 (本部)

安芸郡東洋町河内三〇四
 電話(〇八七)二九一二六五〇

編集室

福原 曉 雲

野島 桂 山

江 西 澄 翠

中 平 美 峰

月例作品送り先
 〒783-0081 南国市片山四九〇
 西山極山 宛
 電話(〇八八)86518857